

# 市政を問う！ 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、17人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(11月下旬掲載予定)

## 子どもたちをどう守るか

…子ども

### みなし寡婦(夫) 控除の適用を

田村法子議員

**問** 婚姻の有無により保育料にも差が出る。現状と対策を。

**答** 未婚のひとり親家庭は70世帯、保育所入所は23件、不公平感をなくすために検討していきたい。

### 虐待から子どもを守るために

島田典朗議員

**問** 児童虐待の対応は。

**答** 通報から24時間以内の情報収集、世帯訪問、児童の目視確認、保護者面接を行い、必要な支援や対策をしている。危険度が高い場合には児童相談所へ通告し、児童を保護



### 給食費の値上げを抑えて

新井光男議員

**問** 児童相談所での研修へ関係者の参加を検討するとともに、対応マニュアルの見直しも進めたい。

**問** 平成27年10月から消費税が10%になるが、基本的方針及び公費助成または軽減は。

**答** 今後の国の動向を注

### 高次脳機能障がいに対する支援充実

田村法子議員

**問** 見えない障がいと言われる高次脳機能障がい。周囲からも誤解を招いているので、広報等で広く周知すると同時に、支援体制の充実を。

**答** 市報や「障がい者福祉のガイドブック」等に掲載を検討するとともに、窓口相談を大切にしてい

### 障がい者のために 避難所の充実を

岸川彌生議員

**問** 災害時には、障がいのある方にその情報が正確に伝わるのが重要。避難所の障がい福祉担当者がだれかすぐにわかるようにしては。

**答** 障がい福祉担当者の専任配備はしていないが、指定職員等は腕章を

## 進めよう

### 福祉政策

…福祉

視しながら検討する。  
**子どもの保育を保障する子育て計画を**

伊藤初美議員

**問** 今後の保育所配置計画によると西側地域の保育所が減ってしまうが。

**答** 保育ニーズを見ながら保育所の誘致に努めていきたい。  
**問** 鶴ヶ岡と亀久保保育所は廃止するのか。  
**答** 耐震性に問題があるので、積極的に代替園の誘致を考えていく。

**問** 保育所整備のための予算措置を国に求めるべきでは。

**答** 国は、民間による認可保育所の整備を進める方向性を示しているので難しい。

係機関と連携を図る。  
**問** 避難所での聴覚障がいの方との円滑なコミュニケーションのためのためにも、手話言語法の制定が必要では。  
**答** 手話言語法の重要性は十分認識している。広く手話が言語であること

### 避難行動要支援者への対策と課題

谷 新一議員

**問** 避難行動要支援者の名簿作成が義務づけられたが、想定される課題とその対策は。

**答** 課題は、支援を行う人的資源が不足するというところで、そのためには行政と地域、関係機関が一体となって要支援者の生命と財産を守るシステムづくりが必要である。

### 気軽に相談できる 地域の相談窓口を

小林憲人議員

**問** 健康上の悩み相談などを目的とした、まちなか保健室を設置する地方公共団体が増えている。地域福祉としての活動拠点や空き家の活用にもつながるが、設置の考えは。

**答** 先進事例を参考に設置や運営方法などについて調査研究したい。

### 要支援者への 市独自のサービスを

足立志津子議員

**問** 第6期介護保険事業(支援)計画では、約5億7000万円の介護準備基金の活用で、要支援者がサービスを控えずに済む市独自の介護事業を用意すべき。

**答** 多段階化や基金の活用を前提に負担軽減を図る。給付は、日常生活支援を含め、検討したい。

## 一般質問

### 福祉総合相談窓口は

鈴木啓太郎議員

**問** 福祉総合相談窓口設置に向け、これまでに研究・検討した内容は。

を啓発し、法律制定の際には広く市民参加のもと議論を行い、有効な法律となるよう考えている。

### 地域包括ケアシステム構築の進捗は

鈴木啓太郎議員

**問** 介護保険制度の改革の一環として地域包括ケアシステムの構築が求められているが、進捗状況は。

**答** 団塊の世代が75歳以上となる2025年までに、要介護となっても住み慣れた地域で自分らしい人生を続けられるように、医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供することを目的にしている。現在は地域ケア会議を開催して基盤整備に着手し、認知症初期集中支援チームの組織化にも取り組んでいる。

### 障がい児(者)への医療体制整備

伊藤美枝子議員

**問** 軽易な病気でも障がいがあるという理由で診察を断られる場合がある。遠方の場合、連れて行くことが困難。近隣に

### 市営住宅保証人制度の見直し

鈴木啓太郎議員

**問** 市営住宅の福祉的な目的からみれば、親族の身元保証を得られずとも、安心して暮らせるように、手続きの見直しが必要ではないか。  
**答** 保証人については身元引き受け支援等を行う法人での対応が可能か検討しており、必要があれば条例の改正も行う。

### 地域で高齢者を支える仕組みを

民部佳代議員

**問** 介護保険制度改正で地域が高齢者を支援する体制が必要となる。どのように支援していくのか。  
**答** 生活支援コーディネートターを設置し、ボランティア育成やネットワーク、地域資源の開拓を行う。

### 単身高齢者世帯への対応

塚越洋一議員

**問** 第6期介護保険計画の策定にあたり、単身高齢者世帯の急増にどう対応していくのか。  
**答** 地域包括ケアシステムの実現に向け、地域ケア会議などを通じて専門職と関係機関の連携を

### アートビレッジ inふじみ野

堀口修一議員

**問** 国内外の芸術家が集い、文化芸術の発信の場として、県立福岡高校跡地にアートビレッジを。また、意見交換の場として「ふじみ野アーティストスト会議」を。

**答** 県立福岡高校跡地活

## 子どもたちを取り巻く教育環境の充実

…教育

### 食べ残し対策

堀口修一議員

**問** 食品ロス問題の一つである、食べ残し対策の啓発は。

**答** 「エコクッキング体験教室」では、食材を無駄にしない調理方法や食べられる量を考えて料理づくりを体験していた。高評価を得ている。

※高次脳機能障がい 病気や事故で脳が損傷し、認知機能に障がい起きた状態のこと。